

平成21年度評価問題「ゆうチャレンジ」（熊本県学力調査） 小学校6年 算数 出題のねらい等

連番	大問	中問	領域及び学年	学習指導要領の内容	出題のねらい	観点				主に「知識」に関する問題	主に「活用」に関する問題
						算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての表現・処理	数量や図形についての知識・理解		
①	1	(1)	数量関係 4年	D(2)ア 四則の混合した式	計算の順序についてのきまりを理解し、減法と乗法が混合した整数の計算ができること。			○		○	
②		(2)	数と計算 5年	A(3)イ 小数の除法の計算	小数÷小数の計算ができること。			○		○	
③		(3)	数と計算 6年	A(2)ウ 異分母分数の加法の計算	異分母分数の加法の計算ができること。			○		○	
④		(4)	数と計算 5年	A(4)エ 同分母分数の減法	同分母分数（帯分数）の減法の計算ができること。			○		○	
⑤	2	(1)	数と計算 6年	A(1)ア 公倍数	公倍数の意味を理解していること。				○	○	
⑥		(2)	数と計算 6年	A(1)ア 公約数	最大公約数の考えを使って、条件に合う袋の数の求め方を考えることができること。		○				○
⑦		(3)	数と計算 6年	A(2)イ 異分母分数の大小	分母の違う分数や小数について、通分等によって大小を理解していること。				○		○
⑧	3	(1)	数と計算 5年	A(5)ア 和、差による見積り	入場者数の差を概数を使って表すことができること。			○		○	
⑨		(2)	数と計算 4年	A(2)ア 概数	身の回りで、概数が使われている場合を見つけようとする事。	○					○
⑩	4	(1)	数量関係 6年	D(3)平均の意味	表の数値をもとに10月から1月までの平均を求めることができること。			○		○	
⑪		(2)	数量関係 6年	D(3)平均の意味	平均の考えを使って、目標とする数値を考えることができること。		○				○
⑫	5		量と測定 5年	B(1)三角形・平行四辺形の面積の求め方	既習の面積の求め方を用いて、四角形の面積の求め方を考えることができること。		○			○	
⑬	6	(1)	量と測定 6年	B(3)イ 速さ	(速さ)=(道のり)÷(時間)の関係から速さを求めることができること。			○		○	
⑭		(2)	量と測定 6年	B(3)イ 速さ	(時間)=(道のり)÷(速さ)の関係を使って、時間の求め方を考えることができること。		○				○
⑮	7	(1)	数量関係 5年	D(2)百分率	もとにする量と割合から、必要な本数を求めることができること。			○		○	
⑯		(2)	数量関係 5年	D(2)百分率	もとにする量と割合から、比較する本数を考えることができること。		○				○
⑰	8	(1)	図形 5年	C(1)イ 合同（新）※移行措置6年	合同な三角形をかくのに必要な辺や角を理解していること。				○	○	
⑱		(2)	図形 5年	C(1)イ 合同（新）※移行措置6年	与えられた条件から、三角形をかくことができること。			○		○	
⑲	9	(1)	量と測定 5年	B(1)イ 円の面積の求め方	面積を求めるために必要な長さを求め、円の面積の求め方を考えることができること。		○				○
⑳		(2)	量と測定 5年	B(1)イ 円の面積の求め方	周の長さと多角形や円の面積の関係を調べようとしていること。	○					○